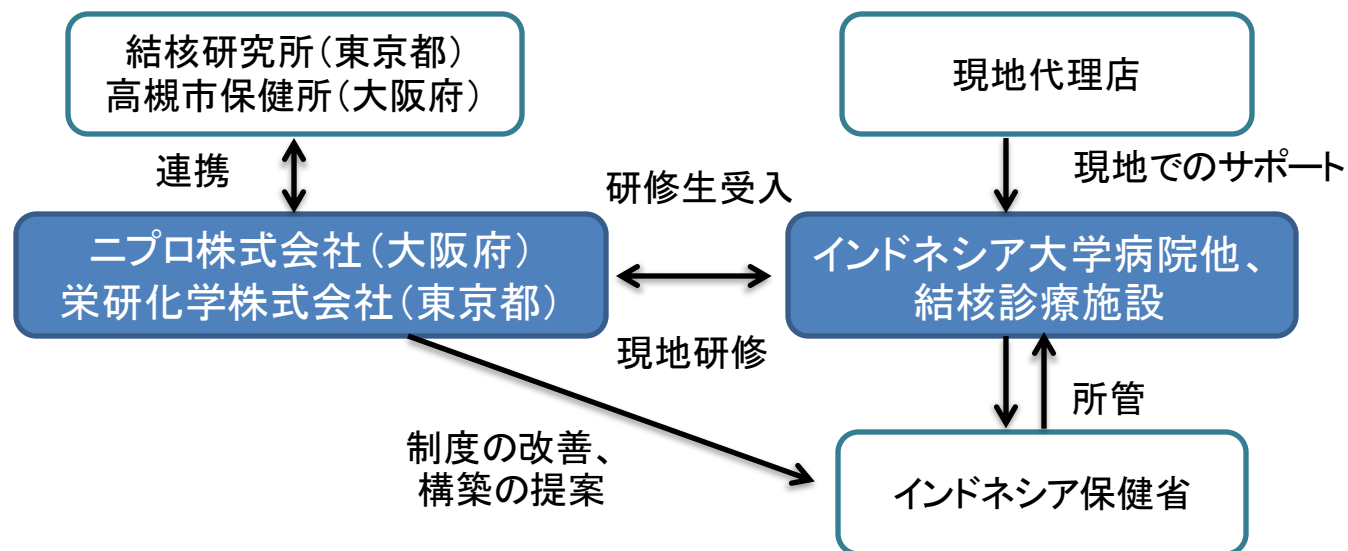


インドネシアにおける結核診断・薬剤耐性結核診断アルゴリズム構築2

結核患者数および結核薬剤耐性患者数が多いインドネシアにおいて、結核感染有無判定試薬であるLoopampと、結核菌の薬剤耐性判定試薬であるGenoscholarを用いたアルゴリズムの構築を目標とした昨年の本事業を受けて、今年度は、このアルゴリズムの理解を深め、普及を促進させる目標で、インドネシアの結核診断技術者および研究者を日本に招聘し、日本の結核対策、特にコロナ禍における対策について学んでもらう。これによって、このアルゴリズムを科学面および運用面の両面から深く理解してもらうことを期待し、当初の目標である3年間で少なくとも5施設へのこれら診断法の導入を目指す。またこの活動は、将来、他国での普及促進に繋がることが期待される。



<研修スケジュール予定>

11月 訪日研修(12名)

- LoopampおよびGenoscholarの原理・操作法に関する研修
 - Loopamp(栄研化学)
 - Genoscholar(ニプロ)
- 日本の結核対策に関する研修
 - 結核予防会等の結核専門家によるセミナー

12月 現地研修(12名)

- 訪日研修のフォローアップ研修